

8 維持管理

(1) 管理設シート

配水管布設にあたっては、原則、管理設シートを布設する。

ア 管理設シート標準規格……W=150mm、2倍折込み

地色：青色、文字色：白色

イ 管理設シート布設位置……管の土被りの1/2の深さで管の直上に布設。

ただし、舗装厚が土被りの1/2以上の場合、
路盤下（路床天）に埋設すること。

ウ 管理設シート設計数量……設計数量は、管の平面布設延長とする。

[解説]

埋設管の上部には、原則として管理設シートを設置すること。

管理設シートの目的は、管の種別・管理者等を示すとともに、道路掘削工事時等に、シートの存在によって、重機等を使用した掘削による管の破損等の事故を防止するためである。

なお、施工にあたっては、管理設シートは極力切断せずに埋設し、やむを得ず切断する場合は1m以上重ね合わせること。

(2) 管明示テープ

配水管布設にあたっては、原則、埋設管明示テープを使用すること。

ア 管明示テープ標準規格……W=50mm、t=0.20mm程度、1巻当り20m

地色：青色、文字色：白色

施行年度明示

文字寸法：縦横8mm程度

文字間隔：4mm程度

表示間隔：3mm程度

イ 管明示テープ取付基準

(7) DIP管は、胴巻きテープのみ施工する。

- ・胴巻きテープの基本間隔 管長4m以下：最低3箇所/本
管長5～6m：最低4箇所/本

- ・胴巻きテープは、1回半巻とする。

- ・直管は管の両端から15～20cm並びにテープ間隔が2m以上にならない中間の箇所に胴巻きテープを取り付ける。

- ・異形管は原則として管端及び中間1箇所に胴巻きテープを取り付ける。

- ・設計数量は、「水道事業実務必携」に基づき算定し、設計のうえでは、「ポリエチレンスリーブ被覆工」に含めて計上する。

(4) PEP管は、管天端テープのみ施工する。

- ・管天端テープの設計数量は、管実延長を計上する。

(3) ロケーティングワイヤー

推進部を除く地中埋設管布設の際には、ロケーティングワイヤーを取り付けること。

ア ロケーティングワイヤー標準規格……径φ4.4mm

導体部：すずメッキ軟銅線

被覆部：導電性カーボンゴム

イ ロケーティングワイヤー設置方針

非金属管…原則設置（露出配管部は除く）

金属管…原則設置（露出配管部は除く）

ウ ロケーティングワイヤー設計数量……設計数量は、埋設部の管実延長を計上する。